

Project プロジェクト

3月号

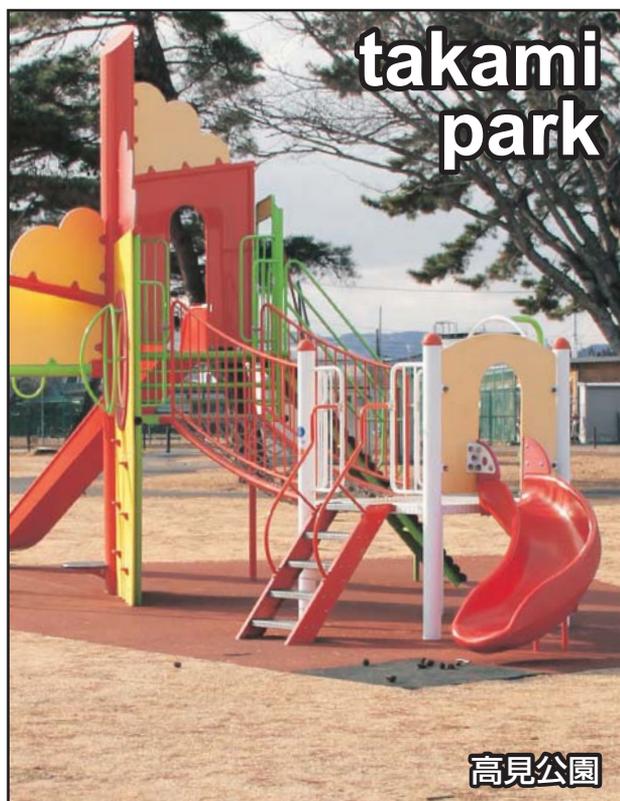
南相馬市放射線タウン情報

2016.3.1 発行 No.1

【編集発行】

南相馬市健康づくり課

☎0244-24-5381



屋外には子どもたちがのびのび遊べる
遊具がたくさん整備されています。

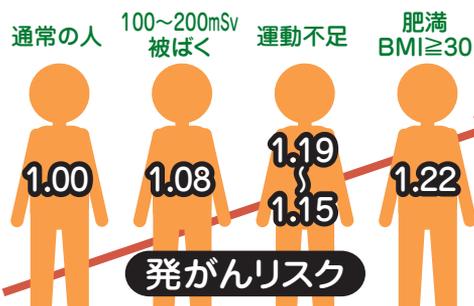
原発事故以降、放射線の関係から外に出て遊ぶ
子どもが少なくなり、運動不足が原因で肥満傾向
の子どもが増えています。肥満は、放射線以上に
がんへのリスクが高いことをご存知ですか？

ご注意！肥満のリスク

多くの方が、原発事故以来、放射線による発がん
のリスクを心配していますが、運動不足を原因
とする肥満による発がんリスクについても注意が
必要です。

国立がん研究センターでは、放射線が原因で引
き起こすがんのリスクと運動不足・肥満による発
がんリスクを比較した結果を公表しています。

知っていましたか？ 運動不足のリスク



この図は、肥満の集団と肥満でない集団を比較
した場合、肥満の集団は、そうでない集団の 1.22
倍がんになりやすいことを表しています。

100mSv 未満の放射線被ばくでは、発症者数
の差が小さいため、リスクが何倍になるかを学術
的に算出できません。（国立がん研究センター）

外遊びの安全性

「公園で遊んでも大丈夫なの？」
「マスクをする必要があるの？」
「空気中の放射性物質の量はどれくらい？」

みなさんの不安を取り除くために、除染や各種モニタリングを行ってきました。平成26年11月から、国・県とは別に、市でも独自に空気中のチリやホコリに付着した放射性セシウムを測定しています。

公園の除染は終わったの？

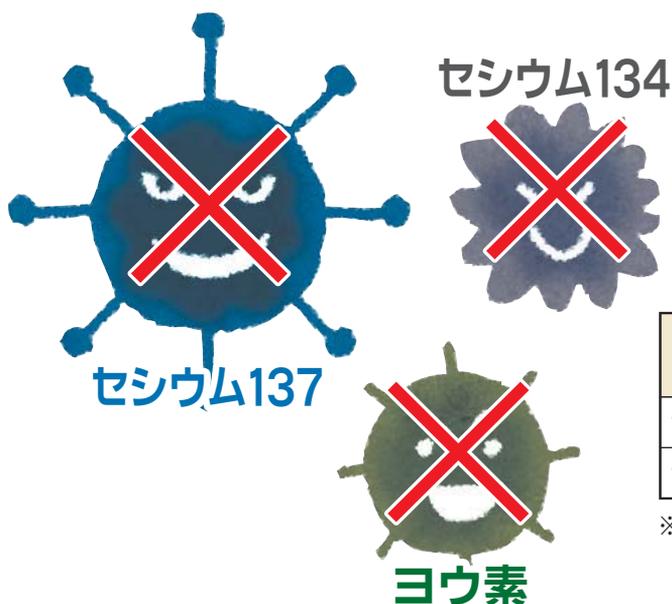
市では河川敷公園及び20km圏内の公園以外について除染を進めてきました。

陣ヶ崎公園墓地以外は既に除染が完了しています。この陣ヶ崎公園墓地も平成28年3月完了予定です。

20km圏内も28年度中完了

河川敷公園については、福島県で実施しており平成28年6月までに完了予定です。

20km圏内の除染は、環境省で実施しており、平成28年度中の完了を目指しています。



1日に呼吸する空気は15,000ℓ

人は1日に約15,000ℓの空気を吸って毎日生活しています。

ドラム缶にして75本分の空気を吸っている計算になります。

1年間にすると、75本×365日=27,375本。高さにすると、富士山の6.5倍にもなります。

(単位：ミリベクレル/㎡)

核種	これまでの最大値 (平成26年12月)	直近の測定値※1 (平成28年1月)
セシウム134	0.79	不検出
セシウム137	3.20	不検出～0.59

※1 平成28年1月5日～1月18日の14日間の測定 1㎡=1,000ℓ
1ベクレルとは、放射性物質から1秒間に1回放射線が出ることをいいます。1ミリベクレルは、その1,000分の1です。

セシウムは ほとんどないの？

測定結果から、現在、空気中にはほとんどないことが分かっています。

仮にセシウム134と137の測定値が一番高かった日の空気を1年間吸い続けたときの被ばく量を計算しても、総被ばく量は、長期的な目標値である年間追加被ばく線量1mSvの1000分の1程度にしかありません。

これは、セシウムは土に吸着しやすい性質があり、地面にとどまっているためです。

もっと健康のために 運動しましょう!!

空気中の放射性物質の測定結果や空間線量率の測定結果などから、現在は、子どもを外で遊ばせても大丈夫な状況です。

健康のためにも、子どもからお年寄りまで外に出て運動しましょう。

なぜ、セシウムだけを 測定しているの？

原発事故で放出された人工の放射性物質の中で、現在、圧倒的に量が多いのはセシウムです。

ヨウ素も放出されましたが、半減期（量が半分になる期間）が8日と短いことから、現在はほとんどありません。

ストロンチウムやプルトニウムも放出されましたが、セシウムに比べるととても少

ない量です。

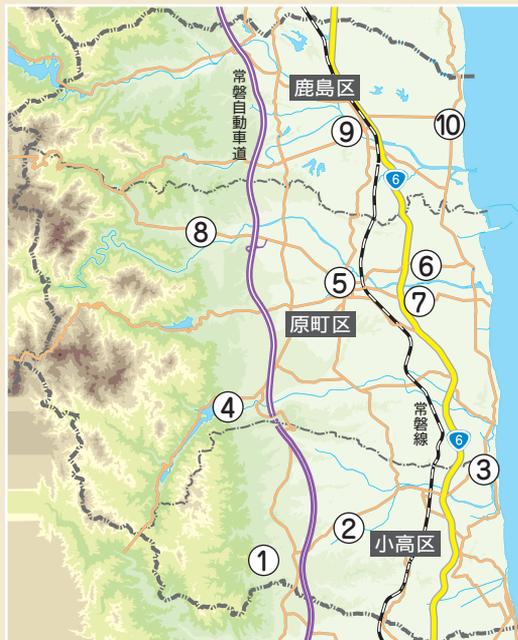
このため、セシウムの測定に力を入れています。

【放出量（推計値）の比較】

セシウム137を1とするとストロンチウム90は100分の1。

プルトニウム239と240の合計は1千万分の1になります。

市内10か所で測定中



- | | |
|-----------|-------------|
| ①川房公会堂 | ⑥高平生涯学習センター |
| ②金房小学校 | ⑦市立総合病院 |
| ③塚原公会堂 | ⑧大原公会堂 |
| ④横川ダム | ⑨鹿島区役所 |
| ⑤原町保健センター | ⑩鹿島区3-3消防屯所 |



時間ごとの 線量が分かります



首から下げて
使用します

【貸出期間】1日から2週間程度
【申込先】健康づくり課 ☎0244-24-5381

Dシャトル貸出し案内

D(ディー)シャトルは、1時間単位で放射線量を測定できる小型の線量計です。1日の中でどこに居た時が一番高く、どこが一番低いか把握することができます。

一緒にお渡しする記録票に記録しておくことで、どこに居た時に多く被ばくしているのかを確認できます。



1時間ごとの線量グラフ

放射線に関する相談にお答え中

市では、平成27年9月から戸別訪問などをしながら、放射線に関する不安・疑問にお答えする「放射線健康相談員」を配置しました。

不安なこと、疑問なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

- ◆よく耳にするシーベルトとベクレルの違いは？
- ◆自家栽培の野菜は食べて大丈夫？
- ◆水道水は飲んで大丈夫？
- ◆甲状腺への影響は？

【相談窓口】市役所東庁舎1階西側
【相談専用ダイヤル】☎0244-24-5415
【受付時間】9:00~17:15



放射線に関する講演会・座談会も受付中

放射線の専門家を招いての講演会・座談会も開催しています。

団体・グループ等で専門家の話を聞きたいときはお気軽にお申し込みください。

【問合せ・申込先】
健康づくり課 ☎0244-24-5381



発行にあたって

市民のみなさんの放射線に対する不安に少しでもお答えできるように、今月から、放射線タウン情報紙「Project(プロジェクト)」を定期的に発行します。是非お役立てください。